

Lesson 10 敵と対戦して ～国を変えた試合～

Part 2

- ⑤ スプリングボクスのリーダーを務めていたピナールとほかの選手たちが、マンデラの考えを支持し、彼の言う「1つのチーム、1つの国」の意味するところを理解しようとした。
- ⑥ チームのメンバーは、マンデラが収容されていた監獄島へ旅行したときに、彼の気持ちがさらに理解できるようになった。この島はまだ刑務所として使われていた。選手たちは、マンデラがとても長い間滞在を強いられた独房を見学した。彼らは一度に1人か2人ずつ独房に入った。それ以上そこには入りきらなかったからだ。その小さな部屋を見て、過去に白人が黒人に何をしたかを彼らは真に悟った。
- ⑦ マンデラの独房を見学した後、スプリングボクスの選手たちは、そこにいた囚人たちに会った。彼らは全員黒人だった。囚人たちは、イギリスチームと対戦したスプリングボクスの試合をラジオで聞いていたと言った。それを聞いて選手たちが、自分たちは今、国全体を代表しているのだと言うと、囚人たちは選手たちのために歌を歌い始めた。囚人たちは、自分たちの敵を許そうとしていた。しかしながら、多くの人々にとって、過去を忘れてチームを応援することは難しかった。